メディアと方言

日本大学文理学部国文学科
日本語基礎演習２

はじめに

ローカルヒーローとメディアと方言

観光・土産の宣伝に使われる方言
ーヴァーチャル方言のWeb vs 実店舗ー

メディアに現れる関西弁

方言キャラクターの比較
ー漫画とアニメ、日本語版と韓国語版ー

ニセ方言使用の意識と実態

あとがき

方言キャラクターの比較

ー漫画とアニメ、日本語版と韓国語版ー

本気で来んね！

전력투구로 덤벼!

0312028 高須勇人
0312086 千葉 楓
0312092 中村元尚
0312854 朴 志炫

5.1 目的

原作から多様なジャンルに広がっている『テニスの王子様』をアニメと漫画の比較から方言使用キャラクターの性格やセリフの表現方法、役割がどのように変わっているかを調査したい。また、原作の日本漫画と韓国版の漫画の比較、日本アニメと韓国版の漫画の比較から翻訳の視点でも比較していく。

5.2 調査概要

漫画とアニメのセリフをそれぞれのキャラクターから取り出し、文ごとに区切り、方言がどの位置で出てくるかを調べ、そこからなにが言えるかそれぞれ分析した。

5.2.1.調査対象作品

表1 調査対象作品

	漫画	使用方言言語	制作	出版社	連載開始年
日本	テニスの王子様	大阪 ･熊本 ･沖縄	許斐 剛	集英社	1999年
韓国		韓国語	조은정(チョウ ウンジョン)	DAEWON C.I	1999年
	アニメ				
日本	テニスの王子様	大阪 ･熊本 ･沖縄	許斐 剛	集英社	1999年

表2 調査対象キャラクターのリストと分析対象データサンプル数

キャラクター名	漫画のセリフ数	漫画の巻数、話数	アニメのセリフ数	アニメの話数
千歳千里	83	35巻309話～36巻320話,38巻332話～340話	92	全国大会編 Semifinal(1,2,5,6)
白石蔵之介	89	29巻249話,35巻307話～28巻340話	103	全国大会編(1), Semifinal(1,2,3,4,5,6)
甲斐裕次郎	36	29巻251話～31巻271話	57	全国大会編(1,2,3,4,5,6)

キャラクターはそれぞれの方言においてセリフの数がそれなりに期待でき、登場シーンが多いものを選定した。 上記の表の漫画のセリフについては吹き出し一つにつき一つのセリフ、アニメのセリフは言葉の区切れ目を一つのセリフとして集計した。 また話数は膨大になってしまう為、方言使用キャラクターが主として登場しているシーンのみに限定した。

5.2.3.分析の方法(何に注目してどのような分析を行うか)

各キャラクターの方言使用部分に注目する。大阪は語尾、文末に方言が多く出てくるのでそこに着目する。熊本は特に使用頻度の高かった助詞表現、沖縄は方言の発音に注目して作中のキャラクター性との関係について調べた。また、両キャラクターの初登場シーンと試合中の特に方言表現が表れている箇所を抜き出し、比較して考察した。

→ 5.3 アニメと漫画で方言イメージとキャラクターの比較(千葉楓)

→ 5.4 関西弁の特色と白石蔵之介の使う関西弁の比較(中村元尚)

→ 5.5 方言使用によってキャラクター性は左右されるか(高須勇人)

→ 5.6 原作の漫画と韓国語翻訳版漫画の比較(朴ジヒョン)

5.7 班全体のまとめ

アニメにメディアミックスされることによって方言の影響が強くなり、方言使用キャラクターに方言イメージを付与する傾向があるということが分かった。また漫画の作者の意図で心理表現は標準語で喋る傾向があることが分かった。

関西弁キャラの台詞には方言文末表現が多用されており、語彙方言も多様であることがわかった。また、否定形も多様であり、拗音も多用されていた。これらは文にさらに強調性を増していることがわかった。

熊本弁は『～ばい』『～たい』を初めとする九州方言が熊本という地域の中で細分化され、その影響が方言使用キャラクターに強く現れていた。沖縄弁は表現のルーツが古語にあることが分かったが、それが直接キャラクターに影響を与えていないことがわかった。

日本の漫画で使用される方言が翻訳されるのは作品によって違うが、『テニスの王子様』の韓国語翻訳版の場合は日本の方言が韓国語の方言に対応されなく、心理表現・文末・文末以外・感嘆表現・人称・自称・品詞・挨拶・決め台詞のすべてが標準語で訳されていた。そのため、言葉では日本語版での方言使用キャラクターの性格が原作ほど反映されなかったが、それ以外の要素たとえば、キャラクターの表情・行動などの絵から見られるキャラクターの性格は両国語の漫画で伝えられていると考えられる。

【参考文献】

NHK放送文化研究所(1997)『現在の県民気質–全国県民意識調査』–日本放送協会

尾上圭介(1999)『大阪ことば学』 創元社

神部宏泰(1992)『九州方言の表言論的研究』 和泉書院

金水敏(2002)「近代語とステレオタイプ」『国語と国文学』79巻P87東京大学国語国文学会11号至文堂

許斐剛(2007)『テニスの王子様公式ファンブック』（40.5）集英社

真田信治(1996)『地域語のダイナミズム』 おうふう

鄭惠先(2008)「方言意識の日韓対照－役割語翻訳の観点から」『日本語科学』23巻

仲宗根政善(1987)『琉球方言の秘密』 新泉社

中松竹雄(1983)『沖縄の方言』 桜楓社

中本正智(1983)『琉球語彙史の研究』 三一書房

原田種夫(1981)『九州方言考 ことばの系譜』 読売新聞社

村山七郎(1981)『琉球語の秘密』 筑摩書房

山下好孝(2004)『関西弁講義』 講談社

【参考URLリスト】

「究極の県民性」(最終閲覧時間2014/01/10)

「サイト名：naver」(最終閲覧時間2014/01/22)

연합뉴스(聯合ニュース)(1990.3.28)

「방송심의소위사투리과다사용억제권고(放送審議所為方言過多使用抑制勧告)」

연합뉴스(聯合ニュース)(1991.1.25)

「MBC 두프로에주의조치의결(MBC二プログラムに注意措置議決)」

연합뉴스(聯合ニュース)(1991.3.25)

「전국시청자불만도조사결과(全国視聴者不満度調査結果)」

연합뉴스(聯合ニュース)(1997.10.3)

「제36회 漢拏文化祭 4일개막(第36回 漢拏文化祭4日開幕)」

연합뉴스(聯合ニュース)(1998.8.25)

「한라문화제 9월 22일개막(ハンラ文化祭9月22日開幕)」

연합뉴스(聯合ニュース)(1999.9.29)

「월드컵개최도시상표개발열기(ワールドカップ開催都市商標開発熱気)」

Copyright(C)2014 Department of Japanese Language and Literature. All right reserved.